



発行所  
北東白石まちづくり協議会  
地域情報広報委員会  
札幌市白石区北郷3条12丁目4-1  
北都地区会館  
TEL011-875-3077

## 新年を迎えて

北東白石連合町内会  
会長 古屋 博二



新年あけましておめで  
とうございます。  
平成21年の新年を迎え謹  
んでご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましても希望に満ちた新年をお迎  
えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、物価の値上がり、世界的な金融危機に  
も伴う雇用等が大きな問題となっており、今後も  
続くだろうと思われま。

地域としては、バス路線廃止の問題が表面化しまし  
た。

一応落ち着きを取り戻しましたが、今後も検討を続  
けられることになっております。

連合町内会としては、1月に地域活性化委員会が平  
和駅前通りに於いてアイスキャンドルを作り、皆さん  
に楽しんでいただきました。

9月には、発災対応型防災訓練を各町内会と無線で  
連携し行なったところでございます。

防犯、交通安全パトロールなども定着し、今年も安  
心で・安全な街づくりを目指して取り組んで参りま  
す。

今年も、皆さまにとりまして幸せ多い一年になりま  
すようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 新春の会場にモーツァルトの響き

### 弦楽三重奏に満席の会場もうっとり

毎年北東白石「社協」が行なっている「ふれあ  
い音楽会」新年は「ニューイヤーコンサート」。

今回はプロのバイオリニスト浜島泰子さんをお  
招きしての弦楽三重奏で、ヴァイオリンの佐藤郁  
子さん、ヴィオラの前 南有さんの出演です。

1月17日(土)北都地区会館は100名を超  
える参加者で満席開演でした。

演奏曲目はF・クライスラーの愛の喜びではじ  
まり、モーツァルトの歌劇「魔笛」より二曲  
「フィガロの結婚」より二曲、珠玉の名曲を演  
奏。休憩を挟んで後半は、皆さんの知っている子  
犬のワルツ・猫ふんじゃったなど懐かしい曲もあ  
りました。

後日感想を寄せられ人が「目の前でのヴァイオ  
リンの高音、低音、ヴィオラの低音での音域の演

奏は魂を揺揺さぶり、奥行き深いメロディは心地良  
い気持ちとして誘った。また、サン＝サーンスの「白  
鳥」ではバレエの風景を思い出した。無事二時間の楽  
しい一刻を得て会場を後にした」と書いて下さいまし  
た。

音楽  
は人の  
心を和  
ませて  
豊かに  
してく  
れます。  
また、「身  
近な地  
域でこんなにも素晴らしい演奏が聞けてとても癒しに  
なりました。」などうれしい声がありました。



### 北の郷里(きたのごうり) 名前の由来

郷とは昔、郡内の一区画で数村をあわせたもの。郷里(ごうり)と  
はその最小単位をあらわしていて、小さな「むらざと」を意味しま  
す。郷里(ごうり)は近代においては郷里(きょうり、ふるさと)と  
呼ばれています。白石区には郷が三つあります。南郷、本郷と北郷  
です。ここから「郷」を一字いただきました。北は白石区の北東、北  
海道の北の文字、日本の北を示し、郷里は我が大地、むらざと、ふる  
さとを示します。地紋は郷土の稲穂です。

「北の郷里」は北郷を連想させる名でもありますが、「日本の北の  
ふるさと」との大きな意味を持たせながら、地域にあっては「ぬくも  
りと優しさに満ちたまちづくり」を目指します。

### 【北東白石まちづくり協議会の構成団体】

北東白石まちづくり協議会の構成団体 = 北東白  
石連合町内会 北東白石地区民生委員・児童委員協議  
会 北東白石地区社会福祉協議会(北東白石地区福祉  
のまち推進センター) 北東白石地区青少年育成委員  
会 北東白石地区体育振興会 北東白石地区交通安全  
実践会 北東白石地区交通安全母の会 日赤奉仕団  
北東白石分団 北東白石地区こども会連絡協議会(北都  
なかよし子ども会、東川下子ども会、川北こども会)  
北都明生会 東川下老人クラブ 川北老人クラブ長  
楽会 川下老人クラブ 北都商店街振興組合

## 第2回雪あかりのまち

「アイスクャンドル」氷が出来ないよ～

暖冬でバケツに入れた水が凍らなく、毎日バケツを見ながらスタッフの叫び声が聞こえました。

今年は約400個のアイスクャンドルを目指し当日急きょスノーキャンドルも作り会場に持ち込みました。

行事案内のとおり、平成21年1月20日午後5時より少し雪が小ぶりの中キャンドルに点灯。

平和駅前通を中心に、今年度は平和駅前ホームからも見えるように、また北13条通りも昨年よりも東西に長く点灯するように行ないました。

さっしん前の駐車場角では昨年のようにテントを張り、甘酒やホットカルピスなど無料サービスも行なわれました。今年は昨年より人出も多く、カメラを手に来てくれた人、携帯のシャッターを切る人も多く、通勤で帰宅の人冬の時(5～8時)ですが、キャンドルの幻想的な美しさを横目にご堪能の様子。

北東白石まちづくり協議会の地域活性化委員会が主催で今回が二度目です。昨年よりも少し灯りが広がったかな、と感じられます。

一部、自分のお店の前にキャンドルを作ったり、自宅でもアイスクャンドルを作る家も出てきました。「川北ゆきまつり」もまた冬のイベントとして賑わっております。(4面に予告)

各地域で冬を盛り上げて、雪にもまけずに楽しみましょう。



第2回 雪あかりのまち



駅前通 平和駅に向かって

甘酒おいしよネ

## 北東白石連合町内会新年互礼会を開催

連町新年互礼会・今年は川北会館にて

北東白石連合町内会(6単町)では毎年会場を持ち回りで開催している。

今年度は川北町内会の担当で1月18日(日)12時より川北会館で開催された。

ご来賓には、宮川学白石区長、上野市民部長、衆議院議員、道会議員、市議会議員や各種団体の長が出席された。

日本舞踊の「松竹梅」「祝賀の

舞」が披露され祝宴に入り、民謡三弦道の皆さんによる歌と三味線演奏があり、各単町の方々も一同に介するこの機会に新年を祝し、今年の活動にと話は続いておりました。(写真上：宮川区長のご挨拶)



## 川下町内会・三世代交流クリスマス会

初めて、ケーキを作ったよ!

12月21日、川下会館で三世代交流クリスマス会を開催しました。

31名の子ども達と父母、おじいちゃん・おばあちゃんを含めた70名程の参加がありました。

ボウリング・輪投げ・ゲームに、バルーン教室ではピカチュウのリースを作り楽しみました。

その後、二年前までは餅つきをしてい

ましたが、それに代わる行事として、今年初めてケーキ作りをしました。

昼食後に食べるケーキは自分の感性で飾りつけをし、ちょっぴり手づくり感を味わいました。この時の自慢げな顔・顔のオンパレードが印象的でした。

普段は静かな川下町内会ですが、館内に溢れる子ども達の声や熱気に心温まる思いをさせてくれた楽しいひと時でした。



開拓の時代、川下は「八太郎糯」の発祥の地。改良を重ね、厚別糯として広がった。糯米の稲穂はもう見れないが、稲作の歴史と餅つきの伝統は今も引き継がれている。

### 東川下老人クラブとの三世代餅つき交流

東川下小学校では、毎年四年生になるとこの餅つきに参加できる。12月16日当日、PTAの保護者や東川下老人クラブの三世代が一緒になったの餅つき交流です。

子ども達は老人クラブのおじいちゃんやおばあちゃんから杵の持ち方や構え方を教わり、腰を入れてといわれなら、「ヨイショ」「ヨイショ」。突き上がると今度は皆の手で一つずつ優しく丸めていきました。三年生はお餅をつくの到来年は自分たちの番だと今から期待をしているそうです。



### 民間学童保育所さくらんぼクラブ餅つき

平成20年12月13日(土)雪が少し積もり寒い日でしたが、クラブとしては4年ぶりの餅つきをしました。

父母会主催で行われ、子どもたちに餅つきを体験させ、自分たちでついた餅をお腹いっぱい食べてもらおうというものでした。

当日は、クラブへ通う1～6年生のうち17名が参加し、子どもたちは臼の中でお米から餅に練られていく様子を目を輝かせて見つめ、餅をつくのはまだか...とワクワク・ドキドキの様子でした。

1年生から順番に餅をつき、杵が重い子には親と一緒にかけ声と共に、高学年はさすがに力強い餅つきでした。

早速、つきたての餅を子どもたちは、磯辺・さとうしょうゆ等で食べ、「おいしい!!おいしい!!」と自分たちでついた達成感とともに餅をお腹いっぱい食べました。

餅をつく子どもたち、美味しそうに餅を食べる子どもたちの笑顔にふれて、父母のみんなも温かい気持ちになりました。



これからもさくらんぼクラブでは伝統文化を取り入れ、子どもたちの成長に役立つ行事をしていきたいと思っています。

[さくらんぼクラブHP](http://www.14.ocn.ne.jp/~sakranbo/) <検索>

北郷4条12丁目15-3 電話・FAX 872-1145  
http://www.14.ocn.ne.jp/~sakranbo/

### ポッポ保育園では餅つき大会

12月5日(金)ポッポ保育園で毎年恒例の餅つき大会がおこなわれました。園児106名は各クラスごとにホールに集



まり、お父さんお母さん職員がつく杵に合わせて大きな声で「よいしょ! よいしょ!」

年長組の子どもたちは、餅つきも体験しました。つきあがったお餅は、みんなで雑煮・きなこ・からみ餅にしておいしくいただきました。

小さな時からの体験が受け継がれて行きますように。

### 北都町内会三世代交流餅つき大会開催する

恒例の北都町内会青少年部主催(部長小澤光之)の三世代交流餅つき大会が、12月7日北都地区会館に於いて子どもからお年寄りまで270名が参加し行なわれました。もち米80K・アンコ15K・雑煮300人分を満悦する。

古  
来か  
らの  
木ウ  
スで  
の餅  
つき、  
自分  
で作  
るア  
ンコ  
餅作



り体験、自分でついた餅を会食。

そして地域の皆さんと交流を深めよう、豊かで住みよい街づくりと人間関係を作ろうの主旨で開催し、参加者に心に残る餅つき大会でした。

当日は、関係する諸団体のご参加とご協力を戴き(学校からも11名参加)無事終了することが出来ましたこと、改めて感謝申し上げます。

参加者の笑顔・笑顔を見るとき餅つき大会の継続を世代交替しながら行なう体制を今後も考えていく必要がある事を痛切に感じました。(寄稿)

### ちょっといい話

## コンサドーレに 古田寛幸(17才)君 が入団(東川下出身)

1月17日の道新、毎日、スポーツ紙などで、「サッカー」1復帰を目指すコンサドーレ札幌に、今季新加入した7選手が16日札幌ドームで記者会見した様子が掲載されました。

その中に、東川下のサッカー少年団で小さい頃より活躍していた古田君がMFとして加入。今後



コンサドーレ札幌に新加入した7選手—札幌ドームで

### ・・まちセン窓口 新しい顔・・・

北東白石まちづくりセンターに「河野三津子」さんが1月より、楯石友紀さんの後任として受付窓口に従事しております。



皆さんどうぞ宜しくお願い致します。

## N・S両団地自治会札幌フローラで 合同新年会を開催

東川下団地自治会・川下団地自治会が合同での新年会を開催致しました。

従来別々に行なっていたのでありますが、今年は、合同と初めての試みでありました。

1月12日は成人の日でもありましたが、18時に「メガネ市場」前に集合、送迎バス2台に乗り、札幌フローラの会場に向きました。

ホテル様式の豪華な会場で、両団地自治会の人々が一同に会しての楽しい新年会でありました。

日頃から両団地会長初め役員の方々に、意思の疎通が取れており、役割分担もスムーズに行なわれ、今後の行事にも楽しみが生まれます。

尚、他の北東白石の各町内会においては1月11日に新年会を行なっております。

お詫び：前号の行事予定で一部誤りがありました。

「遊学館」東川下バス停前の遊学館では囲碁・将棋サロン、パソコン教室、料理サロン、シルバー・介護者サロンなどを行っております。ご参加希望者は 873-8686 島田まで

## 行事予定案内

行事	開催日	時間	場所
子育てニ講座	2月4日(水)	10:00~	北都地区会館
室内雪合戦	2月8日(日)	9:30~	東川下小
雪と遊ぼう2009	2月15日(日)	8:30受付	フッズスノーエリア
かわきたゆきまつり	2月14日(土)	16:00~	川北児童会館前
かわきたゆきまつり	2月15日(日)	11:00~	川北児童会館前

## パートナーシップ排雪予定日決まる

東川下町内会 2月2日~2月9日  
 川北町内会 2月10日~2月18日  
 北都町内会 2月19日~2月26日

以上の予定ですが日程は進行状況により変更になる時がありますのでご了承下さい。

尚、民地からこれにあわせ雪を路上に出す人がおりますが、違法ですのでやめて下さい。費用負担や進行の遅れに成ります。皆でルールを守りましょう。路上駐車もご注意を。

## かわきたゆきまつり2009予告

前夜祭

2月14日(土)  
16:00~ 開会式  
キャンドル消灯  
18:00

本祭り

2月15日(日)  
11:00~開会式・  
ギターライブ  
ゲーム・雪像コンテスト・よさこい  
親父バンド・すべり台・出店・ウツディー合唱団・コンテスト表彰式・  
閉会15:45



昨年のゆきまつり新聞より

### ----- 編集後記 -----

北の郷里が第5巻となり足掛け5年になります。北東白石の同じ地域の中では、毎年同じような行事がありますが、3面の餅つきは、この地域の開拓の歴史を見るに、土地改良の暗渠排水の発祥の地であり、稲作に秀で、糯米の品種改良で全道に広がった発祥の地でもあります。この地域の歴史の伝承であって欲しいと望みます。この歴史を刻み、北の郷里の題字のバックも稲穂を入れております。(見にくいかもしれませんが。)

前回の号で「福まち」サロンの内容案内をしました所、各サロンに、「記事を見て参加した人が何人もおりました。」とお話があり。皆さんこの広報紙を見てくれたのだと編集員も嬉しくなります。

「雪あかりのまち」では今年は「楽しみにしていた」と当日を待っていてくれた人もおりました。

少しづつ、積み重ねて、広がって行くのかもしれない。今年も新しい気持ちでスタートします。